学校番号	3010

令和5年度　工業（映像デザイン）　　科

教科	工業	科目	工業情報数理	単位数	2 単位	年次	1 年次
使用教科書	精選工業情報数理						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

これから工芸高校で様々なデザイン制作を行うにあたり、必要な基礎知識、スキルを身に付けます。 実習では2班に分かれて、紙媒体を扱う手作業、PCでのデジタル作業、ともに学習します。
履修条件
なし

2　学習の到達目標

この実習で学ぶ知識は今後すべての制作に関わる基礎となります。 3年間正しい手順で制作を進めていくために、自らのスキルとして確実に定着することを目標とします。 (1)アプリケーションの使い方を身に付ける。 (2)様々な技術を身に付け表現方法の幅を広げる。 (3)映像デザイン表現として実際に活用するための能力の基礎を育てる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a：知識・技術	b：思考・判断・表現	c：主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	情報技術についての基礎的な知識や技術を習得する。	情報技術に関する様々な技法を正しく有効的に使いわける判断力を身に付ける。	情報技術に関する広い視野を持つことをめざして自ら学び映像デザインの発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付ける。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	情報・ラスター系	コンピュータの基本的な操作 PC上でのファイル管理方法など Photoshopの基本的な操作	a:PC・アプリケーションの使い方を理解している。必要な基礎的な知識・技能を身に付け安全に作業を進めることができる。 b:アプリケーションで作品制作する工程を通して、適切な思考・判断を行い制作することができる。 c:主体的に課題に取り組むことができる。自主的・継続的な学習を通じ、ものづくりに関する探求・創造的な能力を身に付けようとしている。	実習ノート 提出作品 レポート	実習ノート 企画書 実習態度 提出作品	実習ノート 企画書 実習態度 振り返り
	作品制作技術	作品制作に必要な仕上げの技術と道具の使用方法を学ぶ	a:道具の効果的な使い方を理解している。必要な基礎的な知識・技能を身に付け安全に作業を進めることができる。 b:作品制作する工程を通して、適切な思考・判断を行い制作することができる。 c:主体的に課題に取り組むことができる。自主的・継続的な学習を通じ、ものづくりに関する探求・創造的な能力を身に付けようとしている。	実習ノート 提出作品 レポート	実習ノート 企画書 実習態度 提出作品	実習ノート 企画書 実習態度 振り返り
	情報・ベクター系	Illustratorの基本的な操作 文字や図形の描写 ロゴマーク制作	a:PC・アプリケーションの使い方を理解している。必要な基礎的な知識・技能を身に付け安全に作業を進めることができる。 b:アプリケーションで作品制作する工程を通して、適切な思考・判断を行い制作することができる。 c:主体的に課題に取り組むことができる。自主的・継続的な学習を通じ、ものづくりに関する探求・創造的な能力を身に付けようとしている。	実習ノート 提出作品 レポート	実習ノート 企画書 実習態度 提出作品	実習ノート 企画書 実習態度 振り返り
	色	光の3原色・色材の3原色 色の三属性	a:作品制作に必要な色に関する基礎的な知識・技能を身に付け安全に作業を進めることができる。 b:作品制作する工程を通して、適切な思考・判断を行い制作すること	実習ノート 提出作品 レポート	実習ノート 企画書 実習態度 提出作品	実習ノート 企画書 実習態度

2	彩学Ⅰ		ができる。 c:主体的に課題に取り組むことができる。自主的・継続的な学習を通じ、ものづくりに関する探求・創造的な能力を身に付けようとしている。			振り返り
	情報・プログラミング	Dreamweaverの基本的な操作 簡易的なホームページの制作	a:PC・アプリケーションの使い方を理解している。必要な基礎的な知識・技能を身に付け安全に作業を進めることができる。 b:アプリケーションで作品制作する工程を通して、適切な思考・判断を行い制作することができる。 c:主体的に課題に取り組むことができる。自主的・継続的な学習を通じ、ものづくりに関する探求・創造的な能力を身に付けようとしている。	実習ノート 提出作品 レポート	実習ノート 企画書 実習態度 提出作品	実習ノート 企画書 実習態度 振り返り
3	色彩学Ⅱ	色彩表現(明度)	a:映像作品制作に必要な色彩に関する基礎的な知識を身に付けている。道具を適切に扱う技術を身に付け安全に作業を進めることができる。 b:作品制作する工程を通して、適切な思考・判断を行い制作することができる。 c:主体的に課題に取り組むことができる。自主的・継続的な学習を通じ、ものづくりに関する探求・創造的な能力を身に付けようとしている。	実習ノート 提出作品 レポート	実習ノート 企画書 実習態度 提出作品	実習ノート 企画書 実習態度 振り返り

※　表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度